

事業番号	10	事業名	青少年元気サポート事業
------	----	-----	-------------

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

- 青少年の野外活動を促進することは重要としても、国の行うべき事業は、特定団体に補助をすることではない。国は制度設計の整備や各地の成功例、失敗例をくみあげることで、全国に情報を提供することが重要。規模的に小さすぎる。国は全国に影響を与える事業を行うべき。
- 委託先が固定化され、委託先への活動補助になっているような感じがする。国レベルでやる事業としては不適當である。期待される成果と事業規模・方法がアンバランス。
- 国の事業ということで、全国組織への助成という形になっている。しかし、その有効性、他の方策との比較考量が不十分。他の政策手段で同じ目的が実現できるか、一旦ゼロベースで見直し。都道府県等が行うという可能性もある。小中学校での授業でも可能。
- 障害児との交流は直接個別のNPOに任せて、より活発化。中学校の部活に予算をシフト。
- 限られた予算の中で効率ある事業の拡大を図るために、ボーイスカウト日本連盟のキッズコミュニティー事業の一部にある運営コーディネーターを対象とした研修活動に特化させていくことのほうが良いのではないか。
- 事業の担い手として、当初から協働プログラムが可能なものとして、公募してはどうか。
- 公募方法の見直し。
- 伝統のある団体に委託する必然性が不明である。地域における特色ある活動を尊重していくことが基礎的条件である。地域で活動するNPOの専門性をつないだ協議会方式でも受託できる方向は考えられないか。

評価結果

廃止

見直しの余地なし	0名
要改善	4名（実施主体2名、事業規模1名、事業内容4名、予算執行1名）
廃止	4名

（注）要改善の（ ）書きは改善内容を示し、複数選択を可能としている。

とりまとめコメント

本事業については、廃止4名との結果を踏まえ、廃止という結論とし、青少年の野外活動の促進は非常に重要であるが、国が行う事業として、特定の全国団体への補助と指摘されかねない事業ではなく、国は制度設計や制度の整備、あるいは各地の成功事例を収集して、これを全国的に普及するといった役割に徹するべき、というまとめにしたい。